

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市立学校いじめ防止等対策審議会
2 開催日時	令和5年2月20日(月) 18時から
3 開催場所	市役所7階 行政委員会室
4 会議の概要	① 市立小中学校におけるいじめの現状と取組みについて ② インターネット上のいじめ対応マニュアル(案)について
5 公開・非公開の別 (理由)	一部公開 河内長野市情報公開条例第7条に掲げる個人に関する情報を審議することとなるため。
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 教育推進部 教育指導課 (内線 754)
8 その他	上記、議題①内の個人に関する情報を審議する場合のみ非公開となりますので、傍聴人は退出いただきます。

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 令和4年度 河内長野市立学校いじめ防止等対策審議会 会議録

- 1 日 時 令和5年2月20日(月) 18:00~19:40
- 2 場 所 市役所7階 行政委員会室
- 3 出席者 委員 竹内 啓三 氏 村上 佳津美 氏 黒田 尚美 氏  
難波 泰明 氏  
事務局 教育推進部 安田理事  
教育指導課 生田課長 篠崎参事 森口主幹  
墨村主幹 川畑主幹
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議内容
  - (1) 開会あいさつ
  - (2) 委員・事務局紹介
  - (3) 協議
    - ①市立小中学校におけるいじめの現状と取組みについて
      - 事務局より現状について説明
      - 委員より
        - ・昨年度に比べて軽微なものまで認知できている
        - ・各学校において、積極的な認知と対応が、今後の発生を防ぐことにつながる
        - ・国・府との違いを分析することで見えてくるものもあるのでは
    - ②取組みについて
      - 事務局より主な取組みを説明
      - 委員より
        - ・市独自のSVの配置はよい取組みだと思う
        - ・ケース会議は学校のケース会議か
        - ・専門家チームの位置づけは何か

- ・ いじめにつながる不登校についてはしっかり対応すべき
- ・ ころの記録はよい取組みであり、どう生かすかが大事
- ・ 蓄積したデータを分析できるシステムになることが期待
- ・ 結果から評価をどうするのか考える必要がある
- ・ どの先生もデータを有効に活用できるようなしかけが必要

### ③インターネット上のいじめ対応マニュアル（案）

- 事務局より主旨説明
- 委員より
  - ・ 他の自治体でない取組み
  - ・ 加害者と被害者が明確でないケースもある
  - ・ 証拠保全の重要性。
  - ・ 教員が知っておくべき知識以上の対応が必要な場合があるので、早期に専門家に相談するのがよい。
  - ・ 保護者が理解できる説明がポイントになる
  - ・ 先行事例があれば情報収集を